

有害プランクトン情報（第2報－4）

福岡県水産海洋技術センター
令和6年7月24日

7月24日に北九州市沖の海域を調査した結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが確認されました。

カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、数千細胞を越えると魚介類がへい死することがあります。特にアワビ等では、より少ない細胞数でもへい死することがあります。

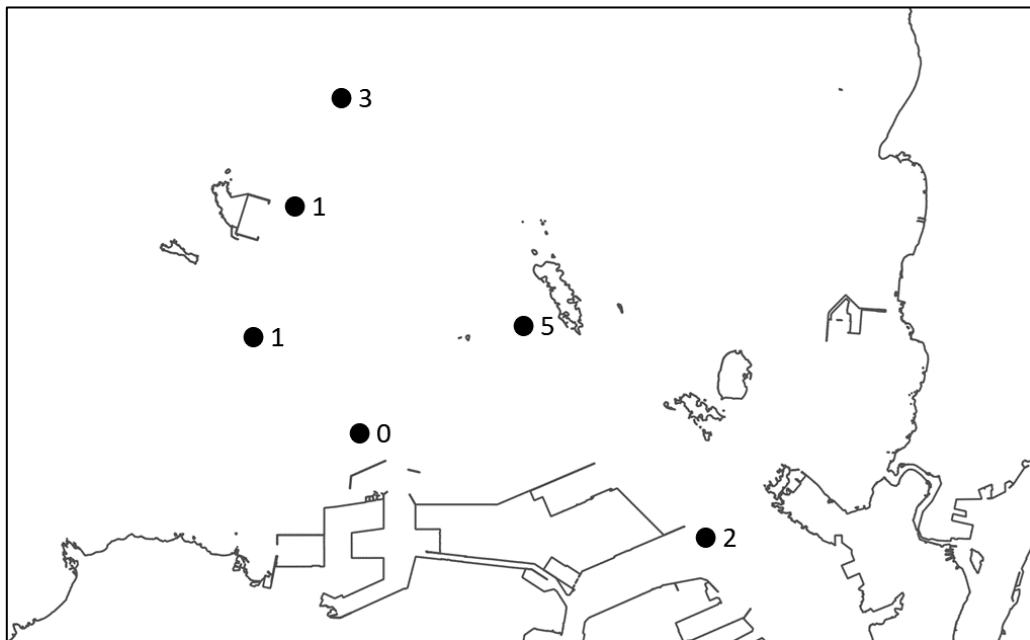
今回の細胞数は魚介類に影響を与える濃度ではありませんが、カレニア・ミキモトイは局所的に高濃度になることがあります。漁場での異常や海水の着色が確認された場合は当センターに至急連絡願います。

また、船艙での活かしや港内での蓄養はなるべく避け、鮮魚出荷に切り替えるなどの対応を取ってください。

センターでは引き続き調査を行いますので、今後の情報に注意してください。

調査結果（7/24）

（図中の数字はカレニア・ミキモトイの細胞数/ml）



連絡先 福岡県水産海洋技術センター
漁業環境課 江頭・江崎・池浦
092-806-0884